

# 今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。  
今回は、橋詰之夫さんです。



橋詰之夫さん(通称)  
産業技術、  
家庭生活・園味

戦後間もなく農業を始めた橋詰さん。現在は、大葉中心の生産ですが、もともと米や野菜づくりなどが好きで、研究を続けており、特に1回の植え付けで2回稲を収穫する再生稲の栽培に関しては国内でも先端を行きます。

そんな研究熱心な橋詰さんのもとに、家庭菜園をやっている方から、農家の方まで、稲や野菜の栽培について、相談しに多くの方が訪れます。「家庭菜園でも普通の畑でも育て方はいっしょ。適切な植え方、育て方がある」と、熱心に指導をする橋詰さん。近隣市町村にも頼まれて、話をしに行ったこともあるそうです。

「作れば作るほど問題点が出てくる。“一生勉強一生青春”をモットーにこれからも研究を続けていきます」とのことです。

## 短歌

大北産サリン福月高日本の列島  
さくららの前線移る  
外山 金田 初美

美しききい難しと思いつつ  
一日早ぬく妻の奥津城  
藤原 山本 茂

山細の下枝を切れば枯草に  
隠れいし惨子鳥鳴き跳べり  
西置町 葛目 治子

区分寺垂れ橋のその下に  
親娘道路と吾も腰おろす  
植野 中上日出子

幾年の桜大樹の木葉紫つじ  
土の肥え来て基かたむけり  
立田 北村 幸江

慎太郎遺刺しのびて植えし柚子  
今年も黄金の玉がふれり  
大浦島 光則

番外の歴史は深き花の古寺  
植野 原 忠男

ヒラヒラと初蝶は舞うすみれ畑  
膝ヶ止 加美レリキ

## 俳句

剪定の枝はねてらり春の空  
立田 佐竹 悦美

足跡を残して乾く春の泥  
上米松 島田 清子

南縁にミシン出ており桜草  
長岡 黒岩めぐみ

おしゃべりの輪にいて眼射びたき  
国分 島村三喜子

声高に密漁の話春かもめ  
国分 和来えい子

花大根佛事を嫁に告げておく  
北江 馬場 左枝

タイムベルかけて忘れて日の永き  
明見 木戸 節

ひとりが手出せばつとつと離あられ  
物部 山川 邦子

玄家の春蚊と云へどあなどれず  
前浜 中村 祭生

庭の花友よび来たたる登げかな  
十市 北村あい子

世話かけた次世は僕が妻となる  
田村 川口 岩春

生意気に留守番電話が返事する  
古市 島田八重子

## 川柳

### 市の統計

面積	125.11km <sup>2</sup>
人口	45,016人 (-245)
男	22,885人 (-194)
女	25,131人 (-51)
世帯数	17,785世帯 (-181)
( )内は前月比	
〔平成7年3月31日現在〕	

### 火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	5件	出動回数	124回
建物	2件	急病	50回
山林	0件	交通事故	36回
その他	3件	一般事故	20回
被害額	13万円	その他	18回
〔平成7年3月分〕			

## まほろば

阪神大震災や異常事件等々の暗い世情をよそに、自然は着実に生長の息吹を高らかに奏でて早くも新緑の候となった。そして、我が南国市に於いても拠点事業実施に向かつて大きく一歩を踏み出した。

広報「なんこく」のスタッフも新陣容になった。長い間、委員長として親しまれ、ご活躍くださった田岡信雄氏と委員の古村謙一郎氏が勇退された。両氏は、卓抜した手腕と識見、斬新な感覚で、「なんこく」を市民に読まれる、親しまれる広報紙に育てられた功績は誠に大きく、今一期在任くださったればと惜愛の念ひとしおである。改めて、その功績を讃え感謝申し上げたい。新委員として、農業改良普及センター職員で、農業問題と写真に造詣の深い松木宣博氏と水源寺副住職で青年ボランティアとして活動されている島崎敬龍氏が任命された。また、事務局の係長には和田氏が起用された。転出された方々の今後のご健闘を祈る。

さて、新スタッフ一同力を合わせ、市民に、より親しまれ、より活用される紙面づくりに徹したいと考えている。皆様方のご支援・鞭撻をお願いする。

(た)

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。